

緊急通報カード



① 事業団体・現場名

② 携帯電話の通信は可能ですか？

はい ・ いいえ

「いいえ」の場合、携帯電話が通信可能な場所（作業開始前に記入）

③ <現場の位置> 可能なら現場の緯度・経度をGPS等で測定し通報。ヘリ救助の必要性は消防が判断。

現場の位置	緯度			経度		
	度	分	秒	度	分	秒

※（世界測地系）

※携帯電話は119番通報する際は必ずGPSを「ON」の状態！

※通報場所が被災者の位置と離れている場合は、通報場所から被災場所までの距離や方角を必ず消防署へ情報提供をお願いします。

④ <救急車と案内人の合流場所>・・・作業開始前に記入。合流場所は「ゼンリン住宅地図」があれば記載する。合流場所の住所地がわかれば詳細に住所地を記載する。

合流場所の説明（救急車はゼンリン地図を搭載しているのでゼンリン地図に記載のある場所を記入）
 「どこから入って」「どこら辺のどこで」または、住所地があれば住所地で、目標物（建物等あれば）

（注：救急車は砂利悪路で走行不可。被災現場付近の未舗装道路は現場の軽トラック等により乗り換える必要有り。）

⑤ <ケガをした人の情報>・・・現場で携帯電話が通信できない場合のみ記入して、通信可能場所へ向かう。

氏名：（ ） 年齢：（ 歳 年 月 日生） 性別：男・女

状況（いつ、どこで、だれが、どうした）

意識	ある ・ ない	負傷箇所	手・足・頭・その他（ ）
呼吸	ある ・ ない	出血	多 ・ 少（ ）
骨折	ある ・ ない ・ 不明	顔色	普通 ・ 白い ・ 赤い
アレルギー	ある ・ ない ・ 不明		

関係者連絡先（家族等） 氏名

電話

<応急処置>

被災者を安全な場所へ移し応急処置を行う！可能なら合流場所へ向けて搬送する！

○まずは・・・我が身の安全確保！！

○話しかけて意識がないときは119番通報する。

直接圧迫止血法



(手袋使用时)



(ビニール袋使用时)

○出血があったときには・・・清潔なガーゼ・ハンカチ・三角巾・タオル等を使用し止血する。

<位置情報（緯度経度）の把握>



○世界測地系で消防署へ伝える